

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公共施設除却事業(消防水利施設)												
事業担当	所属	55020000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550283	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	208	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	消防水利整備事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	消防水利の適正配置により用途廃止した防火水槽などを、施設総量の削減を図るため除却する。												
対象者	福知山市民					対象者数	78,935		単位あたりコスト	0.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社エイト日本技術開発福知山事務所												
事業概要 (箇条書き)	用途廃止した防火水槽を除却する。 ・防火水槽4基(正明寺・新庄・夜久野町金谷・観音寺)を除却した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	委託料	3,630	桔梗が丘防火水槽用途廃止設計業務										
	工事請負費	5,919	防火水槽撤去工事(4基)										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	6,250	8,600	1,200	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	△ 1,421	△ 4,779	6,200				
	前年度繰越	0	1,421	6,200				
	次年度繰越	△ 1,421	△ 6,200	0				
小計(①~③)	4,829	3,821	7,400					
予算財源内訳	① 一般財源	529	△ 5,979	7,400				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	3,700	8,900	0				
	⑤ その他特財	600	900	0				
決算情報	① 流充用額	0	6445	0	0			
	② 配当予算	4,829	10,266	0	0			
	③ 執行額	678	9,549	0	0			
	④ 執行率	14.0%	93.0%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.17 / 0.00	0.38 / 0.00	0.38 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,360	3,040	3,040	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,038	12,589	3,040	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共施設除却事業基金繰入(消防水利施設)		種類	基金繰入金	900	42	頁
		公共施設除却事業(消防水利施設)(除却)			消防債	実績金額	8,500	決算付属資料

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消火活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
消防水利の充足率	%	83 / 100	83 / 100	83 / 100	83 / 100	/ 100	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	解体防火水槽数	基	2 / 2	1 / 2	4 / 2	/ 2	年間2基
	単位あたりコスト		1081.5	678.2	2387.3		
			/	/	/	/	
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	火災による被害の軽減を図るため、老朽化した消防水利の用途廃止を行い、更なる消防水利の機能向上を図り、消防水利の充足率を高めることは重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	点検などにより消防水利の不良箇所を把握し、消防水利の集約化を含め効率的、計画的な施工方法の低コスト化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	防火水槽の整備および安全対策による迅速な消火体制の確立を目的として成果目標を定めている。老朽化および機能維持が困難な消防水利の用途廃止を行い、消防水利の更なる機能向上を図り、火災による被害の軽減が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	防火水槽周辺での事故もなく消火活動時の支障発生件数が、当初目標を達成できていることは評価できる。消防水利の適正配置方針に基づき除却事業を推進してきたが、令和2年度事業の一部が繰越事業となったことは評価できない。消防水利の適正な維持管理を行い、消防水利の長寿命化を推進するとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する。		
これまでの課題及び今後の方向性	火災による被害の軽減を図るため、防火水槽などの整備を行い、消防水利の充足率を高めることは重要である。消防水利の適正配置方針に基づいた除却を進めるとともに、有利な財源確保について継続的に調査研究する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公共施設除却事業(消防施設)												
事業担当	所属	55020000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550282	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	208	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント後期実施計画							
根拠法令等	消防組織法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	消防団施設整備事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	用途廃止した消防施設を、施設総量の削減を図るため除却する。												
対象者	消防団員	対象者数	1,651	単位あたりコスト	7.7								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社日匠設計(有路下分団車庫・詰所設計業務)、芦田商事株式会社(警鐘台及び舟小屋撤去)												
事業概要 (箇条書き)	消防団車庫・詰所を用途廃止または除却する。 ・消防団車庫・詰所6棟(川合分団3棟・河東分団2棟・上夜久野分団1棟)を、用途廃止・除却する工事を実施した。 ・消防団車庫・詰所2棟(有路下分団2棟)を、用途廃止・除却する設計業務を実施した。 ホース乾燥柱および警鐘台を除却する。 ・ホース乾燥柱および警鐘台6基(川合4基、河東1基、土師新町南1基)を、除却する工事を実施した。 ・ホース乾燥柱および警鐘台1基(有路下1基)を、除却する設計業務を実施した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	委託料	900	有路下分団の統合車庫・詰所新築工事に伴う設計業務(既存建物解体分)、警鐘台・舟小屋撤去業務										
	工事請負費	9,737	河東分団統合車庫・詰所新築工事、旧上夜久野分団第2部車庫解体工事										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	10,707	11,690	7,200	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	△ 8,373	△ 964	9,337				
	前年度繰越	0	8,373	9,337				
	次年度繰越	△ 8,373	△ 9,337	0				
小計(①~③)	2,334	10,726	16,537					
予算財源内訳	① 一般財源	△ 1,073	△ 7,520	15,793				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	200	17,800	0				
	⑤ その他特財	3,207	446	744				
決算情報	① 流充用額	0	1693	0	0			
	② 配当予算	2,334	12,419	0	0			
	③ 執行額	1,753	10,636	0	0			
	④ 執行率	75.1%	85.6%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.17 / 0.00	0.25 / 0.00	0.25 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,360	2,000	2,000	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,113	12,636	2,000	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共施設除却事業基金繰入(消防施設)		種類	基金繰入金	446	42	頁
		公共施設除却事業(消防施設)(除却)			消防債	9,500	54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
消防団員の定員充足率	消防団員の定員充足率	%	82 / 100	80 / 100	93 / 95	/ 95	95%
	消防団施設の削減率(27年基準)	%	18 / 10	18 / 10	24 / 20	/ 20	令和元年度までは10% 令和6年度までは20%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防団施設の削減数(27年基準)	施設	17 / 10	17 / 10	23 / 20	/ 20	令和元年度までは10施設 令和6年度までは20施設
	単位あたりコスト		936.5	103.1	462.4		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防団員の活動環境の整備と処遇改善を行い、消防団員の定員充足率を高めることは重要である。また、地域防災力の強化を図るため、福知山市公共施設マネジメント計画に基づき、消防団施設の再編・統合を進め、既存建物を用途廃止し、施設の削減率を高めることも必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	用途廃止する消防団施設について、地権者や自治会と協議を重ね、解体撤去や建物付きでの返還などの経費節減および集約化による消防団活動の効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防団員の活動環境の整備を行い、消防団員の定員充足率を高めるとともに、既存消防団施設の用途廃止および集約化を行い、消防団活動の効率化による地域防災力の強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>消防団員の定員充足率が当初目標を達成できていないことは、社会的背景が起因しているとはいえ評価できない。平成29年度に、消防団活性化計画や福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づく消防団施設の集中整備計画(10年間)を作成し、消防団の再編・統合を計画的に推進してきたが、令和2年度事業の一部が繰越事業となったことは評価できない。消防団員の定員充足率を高めるため、消防本部総務課と連携を図り、消防団員の活動環境の整備と処遇改善につながる施策の調査研究を実施する。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>地域防災力の強化を図るためには、消防団員の定員充足率を高めることは重要である。本事業は公共施設等適正管理推進事業債の除却事業を活用する方針であるが、既存消防団車庫を集約化し統合整備する消防団施設整備事業(財源:緊急防災・減災事業債、過疎対策事業債、辺地対策事業債)に紐づいた事業であるため、有利な財源確保について調査研究する。福知山市公共施設マネジメント実施計画を前倒しで実行し、消防団および地元自治会と協議しながら、消防団施設の再編統合を進めていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防車両更新事業												
事業担当	所属	55020000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550267	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	208	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和24年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	各種災害などに的確・迅速に対処するため、老朽化した消防車両などの更新を計画的に実施し、市民の生命および財産を災害から守る。												
対象者	福知山市民	対象者数	78,935	単位あたりコスト	3.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	消防本部の消防車両を更新整備する。 ・梯子車1台および高規格救急自動車1台を更新整備した。 消防団の消防車両を更新整備する。 ・多機能型小型動力ポンプ付積載車2台および小型動力ポンプ付積載車8台を更新整備した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	旅費	10	車両中間検査等										
	役務費	420	登録諸費用(自動車損害保険料ほか)										
	使用料及び賃借料	11	高速道路使用料										
	備品購入費	264,000	梯子車1台、高規格救急車1台、消防団積載車10台更新										
公課費	418	登録諸費用(自動車重量税)											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	154,530	268,919	63,108	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	154,530	268,919	63,108					
予算財源内訳	① 一般財源	1,230	14,861	138				
	② 国支出金	0	19,758	0				
	③ 府支出金	8,500	8,500	8,100				
	④ 地方債	134,800	225,800	54,600				
	⑤ その他特財	10,000	0	270				
決算情報	① 流充用額	△ 1,354	△ 870	0				
	② 配当予算	153,176	268,049	0				
	③ 執行額	148,757	264,860	0				
	④ 執行率	97.1%	98.8%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.59 / 0.00	0.77 / 0.00	0.77 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,720	6,160	6,160	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	153,477	271,020	6,160	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	消防車両更新事業(防衛補助)	種類	消防費国庫補助金	実績金額	17,682	22	頁
		消防車両更新事業		消防費府補助金	8,338	30		
		消防車両更新事業(緊急防災・減災)		消防債	224,700	54		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	20年未満の車両割合	%	68 / 100	78 / 100	80 / 100	/ 100	100%
	緊急出動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	車両の更新整備数	台	12 / 12	12 / 12	12 / 12	/ 5	年間4台
	単位あたりコスト		18258.3	12396.4	22071.7		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の生命・財産を守るため、消防活動の機動力となる消防車両の更新整備を行い、初年度登録から20年未満の車両割合を高めることは重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	点検などにより消防車両の更新整備の必要性を把握し、車両積装方法の低コスト化も含め、効率的・計画的な整備を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	初年度登録から20年未満の車両割合を高めることにより、災害出動への支障を抑制することで消防力の強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	初年度登録から20年未満の車両割合を高めるため、車両の更新整備を計画的に実施する。車両に関する知識の習得に努め災害出動時の車両の故障を抑制する。 令和元年度から、更新により廃車した消防車両をインターネットオークションで売却している。(令和2年度実績:梯子車1台・積載車9台)		
これまでの課題及び今後の方向性	市民の生命・財産を守るため、消防活動の機動力となる消防車両の更新整備を行い、初年度登録から20年未満の車両割合を高めることは重要である。 集中整備計画に基づき効率的な車両更新を行うとともに、国庫補助金などの財源確保を図る。 更新により廃車した消防車両のインターネットオークションによる売却を継続し、財源確保に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	水防センター整備事業												
事業担当	所属	55020000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550255	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	208	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、水防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国土交通省が戸田地区に整備を進めている、「戸田地区河川防災ステーション」内に水防活動の核となる水防センターを建築し、市民の安心安全を確保する。												
対象者	福知山市民	対象者数	78,935	単位あたりコスト	0.9								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	水防活動の核となる水防センターを整備する。 ・水防センター新築工事を実施した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	役務費	150	水防センター新築に係る手数料(確認申請、完成検査)										
	工事請負費	67,833	水防センター新築工事										
	備品購入費	609	水防センター備品購入										
	負担金補助及び交付金	343	水防センター新築に係る水道の加入金										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,800	111,414		0		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	△ 5,516	△ 38,000		0							
	③ 繰越予算	0	0		0							
	前年度繰越	0	0		0							
	次年度繰越	0	0		0							
小計(①~③)	2,284	73,414		0								
予算財源内訳	① 一般財源	84	214		0							
	② 国支出金	0	0		0							
	③ 府支出金	0	0		0							
	④ 地方債	2,200	73,200		0							
	⑤ その他特財	0	0		0							
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0					
	② 配当予算	2,284	73,414		0		0					
	③ 執行額	2,134	68,934		0		0					
	④ 執行率	93.4%	93.9%									
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.18 / 0.00	0.25 / 0.00		/		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,440	2,000				0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,574	70,934		0		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	水防センター整備事業(緊急防災・減災)		種類	消防債		実績金額		67,800	決算付属資料	54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	水防センターの設計業務	件	0 / 1	1 / 1	1 / 1	/	-	1件
水防センター新築工事	件	- / -	- / -	1 / 1	/	-	1件	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	工事スケジュール調整に伴う国土交通省との協議	回	2 / 3	8 / 3	3 / 3	/	-	年間3回
	単位あたりコスト		0.0	266.8	22978.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の生命・財産を守るため、水防活動拠点の整備を行い、水防活動の強化を図ることは重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国土交通省との継続した協議により、外構工事を全て国で実施していただき、工事費の削減が図れた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	水防活動拠点の整備と水防工法訓練の継続的な実施により、水防活動の強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	水防センターの整備について、新築工事が実施できたことは評価できる。水防団員の継続的な訓練の実施により水防工法の習熟度を向上させる。		
これまでの課題及び今後の方向性	市民の生命・財産を守るため、水防活動拠点の整備を行い、水防活動の強化を図ることは重要である。水防センターを活用して水防団員の継続的な訓練に取り組み、水防工法の習熟度を向上させる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防団施設整備事業												
事業担当	所属	5502000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550249	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	208	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭24年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント後期実施計画							
根拠法令等	消防組織法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	公共施設除却事業(消防施設)												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	消防団員の活動拠点となる消防団車庫・詰所などを整備することにより、消防防災体制に万全を期すとともに、災害現場活動に取り組む消防団員の活動環境の改善を図る。												
対象者	消防団員	対象者数	1,651	単位あたりコスト	64.8								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社日匠設計(有路下)、株式会社ジオ・ワークス(地質調査)												
事業概要 (箇条書き)	消防団車庫・詰所(ホース乾燥柱含む。)を整備する。 ・川合分団、河東分団統合車庫・詰所の新築工事を実施した。 ・有路下分団統合車庫・詰所の整備に伴い、新築設計業務を実施した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	役務費	245	手数料(完成検査、確認申請)										
	委託料	1,201	地質調査(修斉分団統合車庫・詰所)、有路下分団の統合車庫・詰所新築工事に伴う設計業務										
	工事請負費	100,354	分団統合車庫・詰所新築(河東分団、有路下分団(前金)、庵我分団(前金))										
	負担金補助及び交付金	86	庵我分団統合車庫・詰所新築に係る水道の加入金										
補償、補填及び賠償金	299	電気設備の移転補償契約											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	52,571	149,241	3,165	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	△ 7,998	48,459	0					
	③ 繰越予算	△ 17,729	△ 85,856	103,585					
	前年度繰越	0	17,729	103,585					
	次年度繰越	△ 17,729	△ 103,585	0					
小計(①~③)	26,844	111,844	106,750						
予算財源内訳	① 一般財源	144	344	350					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	26,700	111,500	106,400					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 6047	0	0				
	② 配当予算	26,844	105,797	0	0				
	③ 執行額	26,778	102,185	0	0				
	④ 執行率	99.8%	96.6%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.39 / 0.00	0.60 / 0.00	0.60 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,120	4,800	4,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,898	106,985	4,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	消防団施設整備事業(緊急防災・減災)	種類	消防債	実績金額	101,700	決算付属資料	54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	消防団員の定員充足率	%	82 / 100	80 / 100	93 / 95	/ 95	95%
	消防団活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防車庫・詰所の整備数	施設	4 / 2	0 / 2	2 / 2	/ 2	年間2施設
	単位あたりコスト		28636.8	0.0	51092.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防団員の活動環境の整備と処遇改善を行い、消防団員の定員充足率および消防団活動時の支障解消率を高めることは重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	消防団施設の再編・統合により集約化を行い、施設総量の削減および迅速な出動や連携強化による消防団活動の効率化が図れている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防団員の活動環境の整備を行い、消防団員の定員充足率および消防団活動時の支障解消率を高めることで地域防災力の強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>消防団員の定員充足率が当初目標を達成できていないことは、社会的背景が起因しているとはいえ評価できない。 平成29年度に、消防団活性化計画や福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づく消防団施設の集中整備計画(10年間)を作成し、消防団の再編・統合を計画的に推進してきたが、令和2年度事業の一部が繰越事業となったことは評価できない。 消防団員の定員充足率を高めるため、消防本部総務課と連携を図り、消防団員の活動環境の整備と処遇改善につながる施策の調査研究を実施する。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>地域防災力の強化を図るためには、消防団員の定員充足率を高めることは重要である。 集中整備計画に基づき効率的な施設整備を行うとともに、コスト削減に向けて建築工法などの調査研究を実施する必要がある。 条件の良い地方債などを活用する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防庁舎改修事業												
事業担当	所属	55020000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550248	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	206・208	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持を図り、市民の安心安全を確保する。												
対象者	福知山市民	対象者数	78,935	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	西日本電信電話株式会社京都支店												
事業概要 (箇条書き)	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持のため、老朽化した庁舎や施設を改修する。 ・消防署東分署、北分署の電話機器を更新した。 ・消防署北分署のトイレ改修工事を実施した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	委託料	2,239	東分署及び北分署電話設備更新										
	工事請負費	1,958	北分署トイレ改修										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	6,350	5,611	15,000	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	6,350	5,611	15,000						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	6,350	5,611	15,000					
決算情報	① 流充用額	1,530	△ 675	0	0				
	② 配当予算	7,880	4,936	0	0				
	③ 執行額	7,880	4,197	0	0				
	④ 執行率	100.0%	85.0%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.43 / 0.00	0.33 / 0.00	0.33 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,440	2,640	2,640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,320	6,837	2,640	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	消防庁舎改修事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	4,196	決算付属資料	42	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防庁舎の修繕必要箇所数	箇所	1 / 5	2 / 6	2 / 14	/ 12	0箇所
消防庁舎の支障発生日数	日	0 / 365	0 / 366	0 / 365	/ 365	0日	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防庁舎改修工事数(年間)	件	4 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	年間2件
	単位あたりコスト		1701.0	3939.9	2098.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持は、必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	点検などにより消防庁舎の不良箇所を把握し、消防庁舎の適切な維持管理に必要な改修を、老朽度、緊急度や費用対効果など、施工方法の低コスト化も含め総合的に判断し、効率的な改修を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防庁舎の機能維持を図ることで災害発生時の消防機能を守り、市民の安心安全を確保するため、消防力の維持強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	消防庁舎の支障発生日数が、当初目標を達成できたことは評価できる。 点検などにより消防庁舎の不良箇所を把握し、効率的・計画的な改修を実施するとともに、令和元年度に作成した消防庁舎長寿命化改修計画に基づき、消防庁舎の適正な維持管理を行う。		
これまでの課題及び今後の方向性	災害発生時の市民の安心安全を確保するため、防災拠点施設である消防庁舎の機能維持は必要不可欠である。 消防庁舎の適正な維持管理を行うことで消防庁舎の長寿命化を図るとともに、国庫補助金などの財源確保を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防水利整備事業												
事業担当	所属	55020000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550216	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	206	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	公共施設除却事業(消防水利施設)												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	消防水利を適正に配置して消防水利の充実を図り、火災発生時の迅速な消火体制を確立することで、火災による被害の軽減を図る。また、無蓋防火水槽周辺の安全確保を図るため、転落防止用のフェンスを改修する。												
対象者	福知山市民	対象者数	78,935	単位あたりコスト	0.5								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	耐震性貯水槽を新設する。 ・耐震性貯水槽3基(正明寺、新庄、夜久野町金谷)を新設した。 老朽化した消火栓を修繕する。 ・老朽化により漏水が認められる消火栓16基を修繕した。 無蓋防火水槽の安全確保を図るため、転落防止用のフェンスを改修する。 ・老朽化や形状不適により転落危険のある無蓋防火水槽のフェンス15基を改修した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	686	防火水槽標識板購入、工事用ファイル購入、消火栓修繕(樽水)										
	工事請負費	32,242	耐震性貯水槽3基新設(正明寺、新庄、夜久野町金谷)、防火水槽の転落防止用フェンス15か所改修										
	原材料費	30	地下式消火栓嵩上げ部品購入										
	負担金補助及び交付金	226	消火栓撤去工事(大江町日藤地内)										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	31,110	27,945	34,975	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	△ 7,251	7,251	0						
	前年度繰越	0	7,251	0						
	次年度繰越	△ 7,251	0	0						
小計(①~③)	23,859	35,196	34,975							
予算財源内訳	① 一般財源	11,059	2,796	3,875						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	12,800	32,400	31,100						
	⑤ その他特財	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	△ 192	△ 547	0						
	② 配当予算	23,667	34,649	0						
	③ 執行額	23,578	33,183	0						
	④ 執行率	99.6%	95.8%							
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.66 / 0.00	0.82 / 0.00	0.82 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,280	6,560	6,560						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	28,858	39,743	6,560							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	消防水利整備事業(緊急防災・減災)		種類	消防債	実績金額	21,700	決算付属資料	54	頁
		消防水利整備事業(防災対策)			消防債		7,700		54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消火活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100
消防水利の充足率	%	83 / 100	83 / 100	83 / 100	83 / 100	100	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防水利整備数	基	29 / 20	27 / 20	34 / 20	20	年間20基
	単位あたりコスト		854.9	873.2	976.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	火災による被害の軽減を図るため、消防水利の充足率を高めることは重要である。福知山市開発行為に関する指導要綱により、開発者が一部消防水利を設置している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	点検などにより消防水利の不良箇所を把握し、老朽度、緊急度や費用対効果などを総合的に判断し、施工方法の低コスト化による経費節減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	防火水槽の整備および安全対策により消防水利の機能維持及び充実強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	防火水槽周辺での事故もなく消火活動時の支障発生件数が、当初目標を達成できていることは評価できる。消防水利の適正配置方針に基づき適正な維持管理を行い、消防水利の長寿命化を推進するとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する。		
これまでの課題及び今後の方向性	火災による被害の軽減を図るため、防火水槽などの整備を行い、消防水利の充足率を高めることは重要である。消防水利の適正な維持管理を行うことで消防水利の長寿命化を図るとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する必要がある。国庫補助金などの財源確保を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	水防活動事業												
事業担当	所属	55020000 消防本部 消防課					所属長	高橋 雅人					
会計情報	事業コード	550102	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 水防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	208	頁
施策体系	施策コード	040101	施策名	災害に対する危機対応力を強化する									
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市水防計画							
根拠法令等	消防組織法、水防法、福知山市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	水防計画に基づいて水害の発生防止に取り組むとともに、水害時の迅速・的確な活動体制を強化し、市民の生命および財産を水害から守る。												
対象者	水防団員(消防団員)、消防職員					対象者数	1,698		単位あたりコスト	1.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	水防活動に出勤した消防団員に対して、条例に基づく手当を支出する。 ・消防団員出勤費用弁償(水防分)を支出した。 水防活動用資機材を整備する。 ・水防活動に使用する土のう袋を補充した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	旅費	12	消防団員出勤費用弁償(水防分)										
	需用費	46	土のう袋購入										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,491	2,472	2,596	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,491	2,472	2,596						
予算財源内訳	① 一般財源	2,491	2,472	2,596					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	2,491	2,472	0	0				
	③ 執行額	994	58	0	0				
	④ 執行率	39.9%	2.3%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.21 / 0.00	0.27 / 0.00	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00	0.00		
	② 概算人件費	1,680	2,160	2,160	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,674	2,218	2,160	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	水防資機材の整備率	%	100/100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
	水防活動時の支障解消率	%	100/100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	水防工法訓練回数	回	2 / 2	2 / 2	1 / 2	/ 2	年間2回
	単位あたりコスト		1209.0	497.1	58.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の生命・財産を守るため、水防資機材の更新整備を行い、水防資機材の整備率を高めることは重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	点検などにより水防資機材の更新整備の必要性を把握し、コスト面も含めた効率的・計画的な整備を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	計画的な資機材更新により、水防資機材の整備率を高めることで水防活動の強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	水防資機材の整備率や水防活動時の支障発生件数が、当初目標を達成できていることは評価できる。水防資機材の更新整備を計画的に実施するとともに、水防団員の訓練により水防工法の習熟度を向上させる。		
これまでの課題及び今後の方向性	市民の生命・財産を守るため、水防資機材の更新整備を行い、水防資機材の整備率を高めることは重要である。消防防災センターおよび水防センターを活用して市民対象の防災教育に取り組み、水害に対する危機意識や対応能力を向上させる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--